

ちばしょうぞう 千葉県三記念館だより

令和7年3月31日 第4号

【発行者】千葉県三記念館管理運営協議会 鹿沼市楡木町 1080 南押原コミュニティセンター内

千葉県三記念館のひとコマ

ある日、開館と同時に見学者がお見えになりました。入口近くのカatalog、その他PR誌を手に取り、メモをとりながらいねいに見学しています。会話のなかで、大学の先生とわかり、運営の内容について鋭い質問を受けました。そこで協議会では「月一回のKLVによるおはなし会」、「作品を刷り込んだ豆本づくり」等、記念館の展示のほかにも様々な活動をしていることを話したところ、その先生は、「イベント通して省三作品を紹介することは、「静」としての記念館から「動」としての即ち、生きる建物としての存在となる、文学に興味・関心をもつようになるきっかけはこういうことだ」とおっしゃいました。



記念館学習室では、いつも中学生が学習しています。学習に疲れると休み時間に入り、必ずまわりにある千葉県三作品を手に取ります。作品の内容の多くが地域内に実在する地名、場所となると興味が湧くし感動もする。やがて郷土への愛着へとつながっていくことでしょう。本日、当番をしていてこの建物のすばらしさを再認識、啓発に尽力しなければと思った次第です。

千葉県三記念館管理運営協議会 会長 鈴木 節也

～会員のみなさまから～「おはなし会」

記念館が南押原コミュニティセンター内に移ってから始まった「おはなし会」。

記念すべき第一回目は、平成28年3月20日でした。演目は「月をみがく人」「仁兵衛学校」。なんと午前と午後、一日二回の公演で、ワンワンショップという、しおりやクッキーを販売するお店も開いていたようです。

そして平成から令和へと元号が変わり、令和6年11月17日、100回目のおはなし会を開催することができました。途中、コロナで何度か中止になりながらも、KLVメンバーのがんばりと、楽しみに来て下さるお客様の為に続けることができました。常連のお客様も増え、上演できる影絵の数も増えました。

まだまだ省三さんのお話はたくさんあります。願わくは、影絵の作り手がいつまでも元気でいてくれることと、影絵投影用OHPが壊れないでほしいということです。



KLV 小室 朱実 さん

令和6年度 千葉県三記念館トピックス！

1. 手作りの小さな本を作ってみよう！（令和6年7月20日に開催）

小中学生向けの夏休み企画として、木版画家の渡辺勲さんを講師に招き、手作りの小さな本を作るワークショップを行いました。渡辺先生が用意した千葉県三の童話『チックタック』の絵（木版）をもとにして、紙を切ったり、貼ったりして、高さ10cm程のかわいらしい本が完成！参加者のみなさんの夏休みの思い出になりました♪



2. 絵付け体験教室（令和6年10月20日）

南押原コミュニティセンターを会場にした「おかげ様市」と「イソマチマルシェ」にあわせ、地域おこし協力隊で陶芸家の保坂朱音さんによる絵付け体験教室を開催しました。

千葉県三の童話『ワンワンものがたり』にちなみ、参加者は、保坂さんが用意した犬の下絵3点から好きな絵を選び自由に絵付けをしました。作品は後日、無事に焼き上がって、写真のとおり見事に完成！どれも素敵な作品になりました♪



3. 千葉県三作品総選挙（投票日:令和6年11月1日～令和7年1月31日）

「千葉県三作品総選挙」と題して、協議会会員による投票を行い、子どもたちに読んでほしい千葉県三作品ベスト5を選びました！投票の結果は、次の通りです！

| 順位 | 票数 | 作品名 |
|-----|----|---------|
| 第1位 | 7票 | 虎ちゃんの日記 |
| | 7票 | 仁兵衛学校 |
| 第3位 | 4票 | 鷹の巣とり |
| 第4位 | 3票 | チックタック |
| 第5位 | 2票 | けんか |
| | 2票 | ションベン稲荷 |

会員のみなさまからのご意見

- ・(虎ちゃんの日記などは)私は楡木生まれですので、懐かしい気がしました。
- ・昔のこどもの「けんか」は良かったなあ～。負けても勝ってもお互いの心の中は空っぽですっきり…。
- ・地元でのびのび遊びころげる子どもたち。時代が変わっても一番大切な子どもの栄養素。
- ・(虎ちゃんの日記などは)記念館当番の時に読んで印象に残った。
- ・(「梅漬けの皿」について)千葉作品には珍しく女の子を主人公として描かれています。省三の母親がモデルとなっており、少女がおじの家に預けられ(養女にするかも)一人だけよその家に来なければならなかった悲しさやおぼとの小さな確執などによる幼い心の葛藤が読んでいる私達にも伝わってくるお話です。
- ・『ワンワンものがたり』、特に「おねぼうなワンワン」、「お月さんをたべたはなし」、「しっぽのないワンワン」などは子どもたちからとても人気があるので、ぜひ読んで欲しい。

このたび投票にご協力をいただきました皆さま、ありがとうございました！

投票の結果は、市内外の図書館やホームページに掲載するなどして、子どもたちが千葉県三の作品を手にするきっかけになるように活用していきます。

記念館のお客様から

☆出身は粟野町ですが、宇都宮にとつぎました。偶然仕事で訪れた南押原支所に千葉県三記念館があったので寄ってみました。こんな方が鹿沼市に住んでいたのですね。勉強になりました。半田良平さんは存じていました。鹿沼市はすごい人がいらっしゃったんですね。もう少し勉強したいです。(令和6年4月26日)

☆新潟県湯沢町から来ました。(湯沢町は千葉県三の)疎開先だったということから、足跡を知りたくなり訪ねました。もっと世の中に知られてほしいですね。(令和6年10月13日)

展示が変わりました！

このたび、記念館の展示室を一部リニューアルしました。

今回の展示では、本を見開きにして文章を読むことができるようにし、解説文もつけました。また、壁に千葉県三と南押原地区との関わりや、本の装幀を手がけた川上四郎などのコラムを設置したほか、令和6年度に新たに収蔵した、千葉県三のはがき2通を展示しました。

今後も千葉県三の魅力が伝わるよう、さらに展示方法を工夫していきます。

(鹿沼市教育委員会事務局 文化課 文化振興係)



千葉県三の世界をもっと楽しもう！

記念館では、毎月第3日曜日の午前11時から同館の学習室で楡木小KLV、みなみ小KLV、南押原小KLVの皆さんによるおはなし会を開いています。

これはKLVが手作りの影絵、紙芝居などを使い、千葉県三の童話の世界を楽しく紹介するイベントです。事前申し込みは不要、参加費は無料です。子どもから大人まで、ぜひお気軽にご参加ください♪

★小さなお子さんに、オリジナルスタンプカードをお渡ししています。

たくさん参加して、わんわんスタンプを押しましょう！



千葉県三記念館をぜひ応援してください♪



本号で紹介した記念館のイベントは、協議会の会員費によって開催されています。今後も子どもたちに向けた様々なイベントを実施いたしたく、皆さまからの応援をぜひお願いします！！

個人会員 1口 1,000円
法人・団体会員 1口 5,000円

【問い合わせ先】千葉県三記念館管理運営協議会事務局（文化課内）

TEL.65-6741 FAX.65-6742 Email.bunka@city.kanuma.lg.jp

令和6年度 千葉県三記念館運営協議会役員の方

会長:鈴木 節也 副会長:善林 栄 副会長:小室 朱実 会計:生澤 靖子

庶務:須田 陽子 監事:秋澤 久 監事:福島 隆男